| 学校番号 | 3027 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | ＭＯＵＳＡ１（教育芸術社） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４分野について幅広く、年間を通して学習します。
音楽の学習は、クラスの仲間とともに実際に歌ったり楽器をやってみたり、考えたりすることで深まっていきます。音楽の活動を通して、さまざまな音楽に触れ、ともに創り、みなさんの感性や心が豊かなものになることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することをめざす。

【知識・技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができるようにする。

【思考・判断・表】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもち、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め、音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。<br>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 | 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 | 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。<br>感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身につけようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 歌唱 | ・曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう。<br>・J-POPや歌謡曲の特徴を理解して歌おう。 | a:様々な歌唱表現の特徴について理解している。身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。<br>b:知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱について工夫している。<br>c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実技テスト<br>ペーパーテスト | 授業観察<br>実技テスト<br>ワークシート | 授業観察<br>実技テスト<br>振り返りシート |
| | 器楽・創作 | ボディー・パーカッションでリズムアンサンブルを作ろう。 | a:様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。演奏する技能を身に付けている。<br>創意工夫を生かした創作表現をするために必要な手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。<br>b：知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現について工夫している。<br>知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。<br>c:主体的・協働的に器楽・創作の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実技テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>実技テスト<br>創作作品 | 授業観察<br>パフォーマンス課題<br>振り返りシート |
| | 器楽 | 表現を工夫してギターでアンサンブルしよう。 | a:曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付け、器楽で表している。<br>b：知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c:曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実技テスト<br>学習プリント<br>ペーパーテスト | 授業観察<br>実技テスト<br>ワークシート | 授業観察<br>実技テスト<br>振り返りシート |
| | 鑑賞 | 音楽の要素とイメージをつなげよう。 | a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴について理解している。<br>b：知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。<br>c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>ペーパーテスト | 授業観察<br>ワークシート | 授業観察<br>ワークシート<br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 歌唱 | 歌詞の意味や曲の構成を意識し、発音や強弱など表現を工夫して歌おう。 | a:曲想と音楽の構造や歌詞、歌詞や背景について理解するとともに、創意工夫をいかした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けている。<br>b:音楽を形づくっている要素を知覚し、楽曲の表現について考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。<br>c: 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>実技テスト | 授業観察<br>ワークシート | 授業観察<br>ワークシート<br>振り返りシート |
| | 器楽 | グループで演奏会を企画し、合奏をしよう。 | a: 様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付け、器楽で表している。<br>b：知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c: 様々な表現形態による器楽表現の特徴に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実技テスト | 授業観察<br>実技テスト<br>ワークシート | 授業観察<br>実技テスト<br>振り返りシート |
| | 創作 | 桜和高校のサウンドロゴを創ろう | a:音を連ねた時の響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。<br>b:表現意図をもって創作の技法を生かしながら、創作表現を創意工夫している。<br>c:主体的・協働的に創作の学習活動に取り組み、自己のイメージを創作の技法で表現しようとしている。 | 授業観察<br>創作作品<br>ワークシート | 授業観察<br>ワークシート | 授業観察<br>振り返りシート |
| 3学期 | 歌唱 | ハーモニーを感じながら合唱しよう。 | a: 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。<br>b: 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，自己のイメージを もって歌唱表現を創意工夫する<br>c: 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実技テスト<br>ワークシー | 授業観察<br>実技テスト<br>ワークシート | 授業観察<br>実技テスト<br>振り返りシート |
| | 器楽 | トーンチャイムでアンサンブルしよう | a:曲想とトーンチャイムの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付け、器楽で表している。<br>b：知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c:曲想とトーンチャイムの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実技テスト<br>ワークシート | 授業観察<br>ワークシート | 授業観察<br>ワークシート<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度